

# 豚肉情勢

項目	内容	備考																																																															
供給	1.国産	<table border="1"> <tr> <th colspan="3">国内生産量の推移</th> <th colspan="2">農水省出荷予測 (千頭:%)</th> </tr> <tr> <th rowspan="2">暦年</th> <th colspan="2">国内出荷頭数</th> <th rowspan="2">暦年</th> <th colspan="2">出荷予測</th> </tr> <tr> <th>千頭</th> <th>前年比</th> <th>頭数</th> <th>前年比</th> </tr> <tr> <td>H29年</td> <td>16,338</td> <td>98.3</td> <td>R3年 7月</td> <td>1,306</td> <td>96</td> </tr> <tr> <td>H30年</td> <td>16,429</td> <td>100.6</td> <td>R3年 8月</td> <td>1,275</td> <td>100</td> </tr> <tr> <td>R1年</td> <td>16,320</td> <td>99.3</td> <td>R3年 9月</td> <td>1,337</td> <td>99</td> </tr> <tr> <td>R2年</td> <td>16,686</td> <td>102.2</td> <td>R3年 10月</td> <td>1,448</td> <td>98</td> </tr> <tr> <td>R3年 3月</td> <td>1,519</td> <td>105.9</td> <td>R3年 11月</td> <td>1,446</td> <td>100</td> </tr> <tr> <td>R3年 4月</td> <td>1,449</td> <td>100.0</td> <td>R3年 12月</td> <td>1,466</td> <td>96</td> </tr> <tr> <td>R3年 5月</td> <td>1,309</td> <td>101.5</td> <td colspan="3">※令和3年7月21日更新</td> </tr> <tr> <td>R3年 6月</td> <td>1,346</td> <td>101.7</td> <td colspan="3"></td> </tr> </table>	国内生産量の推移			農水省出荷予測 (千頭:%)		暦年	国内出荷頭数		暦年	出荷予測		千頭	前年比	頭数	前年比	H29年	16,338	98.3	R3年 7月	1,306	96	H30年	16,429	100.6	R3年 8月	1,275	100	R1年	16,320	99.3	R3年 9月	1,337	99	R2年	16,686	102.2	R3年 10月	1,448	98	R3年 3月	1,519	105.9	R3年 11月	1,446	100	R3年 4月	1,449	100.0	R3年 12月	1,466	96	R3年 5月	1,309	101.5	※令和3年7月21日更新			R3年 6月	1,346	101.7			
	国内生産量の推移			農水省出荷予測 (千頭:%)																																																													
暦年	国内出荷頭数		暦年	出荷予測																																																													
	千頭	前年比		頭数	前年比																																																												
H29年	16,338	98.3	R3年 7月	1,306	96																																																												
H30年	16,429	100.6	R3年 8月	1,275	100																																																												
R1年	16,320	99.3	R3年 9月	1,337	99																																																												
R2年	16,686	102.2	R3年 10月	1,448	98																																																												
R3年 3月	1,519	105.9	R3年 11月	1,446	100																																																												
R3年 4月	1,449	100.0	R3年 12月	1,466	96																																																												
R3年 5月	1,309	101.5	※令和3年7月21日更新																																																														
R3年 6月	1,346	101.7																																																															
2.輸入	<p>○ 令和3年7月の全国と畜頭数は速報値で1,247.7千頭(7/30まで集計)で、前年同月比92.0%となっている。稼働日数は昨年より1日少なく、1日当たりの平均と畜頭数は速報値段階で62,385頭(前年は64,593頭/日)となっている。</p> <p>○ 農水省食肉鶏卵課の令和3年7月21日付肉豚生産出荷予測によると、今後の出荷予測頭数は令和3年8月1,275千頭(前年同月比100%)、9月1,337千頭(同99%)、10月1,448千頭(同98%)、11月1,446千頭(同100%)、12月1,466千頭(同96%)で、下期合計で前年比100.4%とほぼ前年並と予測している。</p> <p>○ 令和3年6月の輸入通関実績は豚肉全体で75.3千ト(前年同月比94.6%、前月比105.7%)となった。内訳は、堅調な内食需要によりチルドが35.6千ト(前年同月比111.2%、前月比103.1%)と前年比を上回る一方、フローズンは現地価格高や低迷する外食需要の影響で39.7千ト(同83.5%、同108.1%)と前年を大きく下回った。主な国別では、チルドは米国18.7千ト(同128.6%)、カナダ15.2千ト(前年同月比96.6%)、メキシコ1.7千ト(同98.1%)となり、フローズンはスペイン8.9千ト(同73.4%)、メキシコ8.7千ト(同94.7%)、デンマーク5.3千ト(同86.8%)、米国4.7千ト(同105.8%)、カナダ3.0千ト(同90.1%)となっている。</p> <p>○ (独)農畜産業振興機構が7月28日に公表した豚肉の需給予測では、7月の輸入量はチルド・フローズンともに前年を下回ると予測している。チルドは北米での現地価格の高騰に加え、カナダでの熱波による工場の操業停止および流通遅延、フローズンはアジア諸国を中心とした旺盛な買い付けと北米・EUの輸出国内での需要の増加および現地価格の高騰が原因である。8月の輸入量は7月並みを予測している(チルド31.5千トン、フローズン37.1千トン)が前年8月の輸入量が少なかったため、前年比としては、チルドはわずかに上回り(前年比100.7%)、フローズンはわずかに下回る(同99.8%)ことが見込まれる。</p>																																																																
需要	1.家計消費	<p>○ 総務省発表の令和3年5月期家計調査報告によると、全国二人以上の1世帯当たり豚肉購入数量は1,923g(前年同月95.0%)、支出金額が2,701円(同91.8%)となり、購入量・金額とも、前年を下回った。(※前々年度同月比:購入量・金額とも112.9%)</p> <p>○ 日本スーパーマーケット協会など食品関連スーパー3団体の6月の販売統計速報によると畜産部門の売上高は1,112億円(前年同月比98.5%、既存店ベース97.2%)と前年同月を下回った。内食需要は底堅いものの、昨年大きく需要を拡大したハム等の加工肉やひき肉等が前年の反動で伸び悩んだことが大きな原因である。</p> <p>○ 日本チェーンストア協会が公表した6月販売概況によると、畜産品の売上は855億円(店舗調整後で前年同月比98.9%)となり、前年を下回る結果となった。鶏卵は好調、牛肉・鶏肉は比較的良好な一方で、豚肉・ハム・ソーセージ類の鈍い荷動きが報告されている。</p> <p>○ 7月は、底堅い内食需要が続き、出荷頭数が低調に推移するなかで、枝肉相場は乱高下したものの、荷動きは落ち着いた展開に終始した。国産物・冷蔵品では、前月に続きウデ・モモの荷動きは堅調に推移するとともに、梅雨明けでバラなどの焼き材の引き合いが強まった。国産物・冷凍品もウデ・モモが荷動きの中心となったが、ここまで荷動きが鈍かったバラ・ロースも荷動きが見られた。輸入品チルドは、通関遅れによる不安定な入荷が継続しているなか、ベリーを中心に堅調な荷動きとなっている。フローズンは期待された五輪需要も盛り上がり欠け、外食需要の停滞が続いており、全体的に厳しい荷動きが続いている。</p>																																																															
	2.小売動向 6月概況																																																																
在庫	3.加工肉仕向量	<p>○ (独)農畜産業振興機構が7月28日に公表した豚肉の需給予測によると令和3年6月末の推定期末在庫量は187.7千ト(前年比79.9%、前月比101.2%)となり、前年を大きく下回った。内訳は、輸入品の在庫が162.4.6千ト(前年比76.7%、前月比101.8%)、国産品が25.3千ト(前年比109.0%、前月比97.7%)となり、輸入品は前年実績を下回り、国産品は前年実績を上回った。同機構によれば、国産品と輸入品を合わせた今後の期末在庫の推移は、7月が172.1千ト(同76.3%)、8月が169.0千ト(同76.5%)と、引き続き前年を大幅に下回るものと予測している。</p>																																																															
	1.在庫																																																																
枝肉相場	1.R3年7月速報値	<table border="1"> <tr> <th colspan="2">加工品仕向量</th> <th colspan="2">市況の推移(東京市場)*税込み</th> </tr> <tr> <th rowspan="2">暦年</th> <th colspan="2">加工品仕向量</th> <th rowspan="2">暦年</th> <th colspan="2">豚枝肉「上物」</th> </tr> <tr> <th>千ト</th> <th>前年比</th> <th>円/kg</th> <th>前年比</th> </tr> <tr> <td>H29年</td> <td>376.6</td> <td>101.6</td> <td>H29年</td> <td>569</td> <td>108.6</td> </tr> <tr> <td>H30年</td> <td>376.6</td> <td>100.0</td> <td>H30年</td> <td>518</td> <td>91.0</td> </tr> <tr> <td>R1年</td> <td>372.1</td> <td>98.8</td> <td>R1年</td> <td>524</td> <td>101.2</td> </tr> <tr> <td>R2年</td> <td>376.7</td> <td>101.2</td> <td>R2年</td> <td>561</td> <td>106.9</td> </tr> <tr> <td>R3年 2月</td> <td>26.7</td> <td>94.2</td> <td>R3年4月</td> <td>494</td> <td>80.9</td> </tr> <tr> <td>R3年 3月</td> <td>31.4</td> <td>101.7</td> <td>R3年5月</td> <td>506</td> <td>80.2</td> </tr> <tr> <td>R3年 4月</td> <td>32.6</td> <td>98.5</td> <td>R3年6月</td> <td>619</td> <td>99.4</td> </tr> <tr> <td>R3年 5月</td> <td>30.5</td> <td>97.6</td> <td>R3年7月速報値</td> <td>638</td> <td>99.6</td> </tr> </table>	加工品仕向量		市況の推移(東京市場)*税込み		暦年	加工品仕向量		暦年	豚枝肉「上物」		千ト	前年比	円/kg	前年比	H29年	376.6	101.6	H29年	569	108.6	H30年	376.6	100.0	H30年	518	91.0	R1年	372.1	98.8	R1年	524	101.2	R2年	376.7	101.2	R2年	561	106.9	R3年 2月	26.7	94.2	R3年4月	494	80.9	R3年 3月	31.4	101.7	R3年5月	506	80.2	R3年 4月	32.6	98.5	R3年6月	619	99.4	R3年 5月	30.5	97.6	R3年7月速報値	638	99.6	
	加工品仕向量		市況の推移(東京市場)*税込み																																																														
暦年	加工品仕向量		暦年	豚枝肉「上物」																																																													
	千ト	前年比		円/kg	前年比																																																												
H29年	376.6	101.6	H29年	569	108.6																																																												
H30年	376.6	100.0	H30年	518	91.0																																																												
R1年	372.1	98.8	R1年	524	101.2																																																												
R2年	376.7	101.2	R2年	561	106.9																																																												
R3年 2月	26.7	94.2	R3年4月	494	80.9																																																												
R3年 3月	31.4	101.7	R3年5月	506	80.2																																																												
R3年 4月	32.6	98.5	R3年6月	619	99.4																																																												
R3年 5月	30.5	97.6	R3年7月速報値	638	99.6																																																												
2.予測 R3年8月	<p>○ 農水省食肉鶏卵課の令和3年7月21日付肉豚生産出荷予測の8月出荷予測頭数は1,275千頭(前年同月比100%)と前年並の出荷頭数を見込んでいる。8月は需要面では底堅い内食需要は継続し、供給面では通関遅れ等による輸入品の不安定な入荷状況は続いているものの、コロナ感染症の拡大により期待したお盆や五輪需要も不透明で、国内出荷頭数も回復傾向なため、7月に比べ弱気な相場展開が予測される。なお、出荷頭数や新型コロナウイルスの影響に伴う行政対応等による相場への影響には引き続き注視が必要である。</p> <p>&lt;相場予想: 東京市場、税込み&gt;</p> <table border="1"> <tr> <td>R3年6月実績</td> <td>R3年7月速報値</td> <td>R3年8月予測</td> <td>R3年9月予測</td> </tr> <tr> <td>619円(99.4%)</td> <td>638円(99.6%)</td> <td>610円(96.2%)</td> <td>570円(91.6%)</td> </tr> </table> <p>【上物】(前年比)</p>	R3年6月実績	R3年7月速報値	R3年8月予測	R3年9月予測	619円(99.4%)	638円(99.6%)	610円(96.2%)	570円(91.6%)																																																								
R3年6月実績	R3年7月速報値	R3年8月予測	R3年9月予測																																																														
619円(99.4%)	638円(99.6%)	610円(96.2%)	570円(91.6%)																																																														